



令和5年2月

第83号

編集・発行

青梅市農業委員会  
農政部会

青梅市東青梅1-11-1  
電話(0428)22-1111

### 宮中新嘗祭

新嘗祭とは、宮中祭祀の一つで、毎年11月23日に皇居で執り行われ、天皇陛下自らが新穀を供え、五穀豊穡を感謝した後、天皇陛下も初穂を食す祭儀です。宮中新嘗祭献穀は各都道府県から選ばれた奉耕者が献穀するもので、今年として藤橋の中村芳男さん、あけみさん御夫妻が選ばれました。5月に御播種祭を行い、6月の御田植祭には、農業委員会から加藤会長、石川委員が参加をしました。会長は「雅楽の演奏の中、厳かな雰囲気で行事が行われ、非常に貴重な体験ができました。」と話しました。

その後、11月に中村さん御夫妻自ら、宮中へ献納しました。



→ 御田植祭の様子



← 斎田清祓の儀の様子



→ 抜穂祭の様子



← 斎田の様子

# 農 業 祭

市内農業者団体による直売会が、11月6日と18日に青梅市役所で開催されました。

6日は3年ぶりに産業観光まつりと併せて開催され、野菜、花等が販売されました。

18日の直売会には白菜、キャベツ、里芋など合計で500点以上の出品がありました。

一方、JA西東京主催による、JA西東京かすみ地区農業祭が11月23日にかすみ直売センターにて開催され、市内の農産物等の販売が行われ大盛況を収めました。

また、各地区の農産物共進会も同じく3年ぶりに開催され、それぞれ農産物および園芸作品の審査が行われ、優れた出品物には特別賞が贈られました。



→直売会の様子



→農産物共進会の様子

11月23日	11月23日	11月13日	11月13日	11月12日	実施日	各地区共進会 青梅市長賞
JA西東京霞地区 園芸教室女性部作品共進会 ・寄せ植え 藤本 美枝子	JA西東京霞地区 農産物共進会 ・白菜 関塚 貢司	成木地区文化祭 農産物共進会 ・里芋 川口 悠	梅郷地区総合文化祭 農産物共進会 ・山芋 土方 考三	三田地区総合文化祭 農産物共進会 ・梅干 森田 里美	内容および受賞者(敬称略)	

11月23日	11月23日	11月13日	11月13日	11月12日	実施日	各地区共進会 農業委員長賞
JA西東京霞地区 園芸教室女性部作品共進会 ・寄せ植え 伊藤 光子	JA西東京霞地区 農産物共進会 ・カブ 吉野 好男	成木地区文化祭 農産物共進会 ・キウイフルーツ 市川 久	梅郷地区総合文化祭 農産物共進会 ・梅干 持田 祥太郎	三田地区総合文化祭 農産物共進会 ・山芋 高名 都雄	内容および受賞者(敬称略)	

新規就農者の紹介について

川崎 祐樹 さん

今回は、令和2年に営農を開始した川崎祐樹さんを紹介致します。



◎これまでの経緯

川崎さんは就農前、キャンプ場で働いており飲食に携わる仕事を通して、多くのフードロスに直面しました。また、自分たちが提供している食べ物へのルーツを知らないことに距離感を感じ、営農を決意しました。自分で生産したものを自分で食べることや、生産者と消費者が近くで繋がれる

ようなイベントを開催することが、農業の魅力と考えています。

◎営農状況

川崎さんは現在、新町と藤橋地区周辺に約63アール農地を借りて営農をしています。新町の畑は人通りが多く、通りがかりの人に興味を持ってもらえるように、少し変わった作物を栽培しており、ビキーニヨ(唐辛子)、白ナス、茶わた等を少量多品目で生産しています。また、自販機も設置しています。

藤橋地区では品目を絞り、収量が増えるように取り組んでいます。

また、新規就農者の仲間と取り組んでいるCSA(地域支援型農業)や田植え等のイベントを通して地域の方との繋がりを大切にしています。苦勞していることとして、

「規模の拡大と設備投資のバランスの難しさ」と話してくれました。

◎今後の営農計画

都の補助制度を利用し作業場であるハウスを建て、農業用機械を揃えることで効率化を図り、農地の規模を拡大したいとのこと。

川崎さんは無農薬で営農しているため、農業用機械の設備拡充を行いながら、1人では大変な作業も、農作業に興味のある方たちを招き一緒に作業をすることで効率化し、より質の高い野菜を栽培したいと話してくれました。その活動の中で、引き続きイベントや農業体験を実施していくことが今後の目標とのこと。

また、長期的には農福連携にも興味があり、農福連携ができる加工場や職場環境を整

備し、雇用の場を作りたいと考えています。

最後に、川崎さんが畑で作業をしているのを見かけた際、興味があったらぜひ声をかけてほしいとのこと。

作物が販売できる状況であれば、その場で採れたての野菜を販売することが可能です。インスタグラムもやっていきますので、そちらも御覧ください。

(ID: harapekofarm)

農業者年金に加入しましょう

次の3つの要件を満たす人は加入できます!

- ① 20歳以上60歳未満
- ② 農業に60日以上従事
- ③ 国民年金第1号被保険者



保険料は? 月2万円~6万7千円のあいだで設定できます。節税効果! 保険料が全額社会保険料控除の対象になります。

いつでも脱退可能! 1か月でも積み立てた保険料は支給OK。申込みは? 青梅市農業委員会または農協へ

令和4年11月1日時点

生産緑地地区 全体面積(令和4年1月1日告示)

約 125.49ha

内容	地区面積	割合	筆数	割合
平成4年指定生産緑地地区	102.12ha	100.0%	1,837	100.0%
(内訳)				
特定生産緑地公示済	90.94ha	89.1%	1,617	88.0%
指定意向無区域等	11.18ha	10.9%	220	12.0%
平成5年指定生産緑地地区	6.80ha	100.0%	142	100.0%
(内訳)				
特定生産緑地公示済	5.05ha	74.3%	107	75.4%
指定意向無区域等	1.75ha	25.7%	35	24.6%

特定生産緑地指定状況

過去の農業委員会だよりにてお知らせしました、特定生産緑地への移行について、11月1日時点で左記の指定状況となっております。

親子農業体験

6月18日に田植えを行った親子農業体験会ですが、稲刈りは悪天候により残念ながら中止となりました。

後日、農業委員会が稲刈りを行い、今年は昨年を大きく上回る261kgのお米を収穫することができました。

食育事業として、後日参加申込者には、5kgの新米を配付するとともに、フードバンクに寄付しました。



令和5年度農業セミナー生募集のお知らせ

西多摩農業改良普及センターより

今回は、次年度開催される「フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー」と「農業実践力養成セミナー」をご紹介します。

これから就農する、農業技術や経営管理について知りたい、同年代の農業者と交流したいなど、そのような方にお勧めするセミナーです。

1 フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー(東京都とJA東京中央会が共同開催)

4月より、「第15期フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー」を開講します。東京都内全域の新規就農者及び農業後継者の皆様を対象とした、農業技術及び経営管理を学ぶ研修です。以下、募集内容を記載します。

・受講資格

(1) 近年都内で就農した者及び開講までに都内で就農が確実な者

(2) 農業所得を得ることを目指す者

(3) パソコン、スマートフォン等の基本的な操作(メールの送受信、インターネット配信の動画の閲覧等)ができること

(4) 当該受講期間が始まる年度の4月1日時点でおおむね60歳までの者

(5) 各講座に確実に出席し、ホームページにも確実に取り組む意思のある者

・募集定員

20名(西多摩農業改良普及センター管内)

・研修期間

令和5年4月〜令和7年3月の2年間(平日開講)

・内容

全体研修及び地区研修があります。

○全体研修（JA東京中央会開催）

流通、都市農政、税務などについて、講演や視察などを通じて学びます。

○地区研修（西多摩農業改良普及センター開催）

座学を中心とし、農家経営、病害虫防除などの共通科目と、野菜、果樹、花き、植木、畜産に分かれた選択科目について学びます。また、1年次と2年次に1回ずつ東京都指導農業士等を講師とした栽培管理の実習も行います。

なお、2年次には先進地視察研修の他、「ホームプロジェクト」という、普及指導員の指導による実践的な問題解決学習を行います。

・受講料

15,000円（この受講料は開講までに納入が必要となります。全体研修にかかる経費であり、地区研修等にて別途実費がかかる場合があります。）

・申込み方法

JA及び西多摩農業改良普及センターで配布している申込書に、必要事項を記入の上、JA西東京へお申し込み下さい。

・募集期間

令和4年12月9日（金）～  
令和5年3月10日（金）

2 農業実践力養成セミナー

（西多摩農業改良普及センター主催）

5月より第2期を開講します。西多摩地域で、営農経験が少なく基礎的な栽培技術を学びたい方、これから農業を開始しようという方、女性農

業者などを対象としたセミナーです。指導農業士等先進的農家を講師に迎え、実習を中心に栽培技術などを学びます。

・受講資格

概ね65歳未満で5a以上の農地を有し、販売農家を目指す方、販売を始めた方。

・募集定員

10名程度

・研修期間

令和5年5月～令和6年3月

・内容

野菜栽培、出荷調整、農薬安全使用、果樹の剪定管理など（10回程度）

・受講料

無料（資料代など実費が必要になる場合があります）

・申込み方法

JAや西多摩農業改良普及センターで配布している申込書に、必要事項を記入の上、

西多摩農業改良普及センターへお申し込み下さい。

・募集期間

令和5年2月13日（月）～  
令和5年3月31日（金）

・お問い合わせ先

東京都西多摩

農業改良普及センター

TEL

0428(31)2374



【発行】毎週金曜日

【購読料】月額700円

（送料、消費税込）

【申込み】青梅市農業委員会まで

栄えある受賞

【内田農業振興会】

第55回農業功労表彰

緑綬功労賞

松永 幸治 氏 (新町)

【東京都農林水産振興財団】

新規就業奨励事業奨励賞

清水 友平 氏 (今寺)

守屋 晃男 氏 (東青梅)

【全国山林苗畑品評会】

農林水産大臣賞

森田 泰夫 氏 (野上町)

委員会活動日誌

(令和4年7月～12月)

■農業委員会総会

- 第4回 7・25 第5回 8・25
- 第6回 9・26 第7回 10・24
- 第8回 11・25 第9回 12・26

■農業委員会専門部会等

土地部会 第1回 7・25

第2回 10・20

農政部会 第2回 7・25

第3回 11・25

■市内会議等

青梅市都市計画審議会

7・4

青梅市畜産振興会

7・25

青梅市担い手育成総合支援協議会

8・9

青梅市食育推進会議

8・13

農業振興団体連絡協議会

9・5

農業祭実行委員会

9・5

青梅市都市計画審議会

10・20

■調査・交流活動等

農業振興地域内農用地調査

9・27～9・30

生産緑地調査

12・21～12・22

■催事等

宮中新嘗祭抜穂祭

10・4

親子農業体験会(稲刈り)

10・21

青梅市農業祭

11・6、11・18

J・A西東京各地区農産物共進会

三田地区 11・12

梅郷地区 11・12～11・13

成木地区 11・11～11・13

霞地区 11・22～11・23

■西多摩地区会議等

農業委員会地区別広域連携会議

西多摩地区(瑞穂町)

7・5

西多摩農業改良普及事業協議会

通常総会(書面開催)

8・10

西多摩地区東京都農業会議臨時総会(書面開催)

8・17

広報研究会

9・2

委員会開催状況(令和4年7月～12月)

開催日	議案件数	会長専決処理件数
第4回(7月25日)	11件	17件
第5回(8月25日)	14件	16件
第6回(9月26日)	16件	19件
第7回(10月24日)	8件	16件
第8回(11月25日)	27件	24件
第9回(12月26日)	15件	24件

員研修会 9・15

農業委員会経営・土地部会長 10・4

研究集会 10・4

農業委員会会長研究集会 10・5

東京都農業会議第2回臨時総会・第2回事業推進協議会(立川市) 11・17

農地流動化、利用集積計画現地研究会 12・22